



# JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2023 FINALIST STORIES

## 【名称】

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2023

## 【主催】

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 運営委員会

## 【パートナー】



## 【サポーター】

ARC'TERYX、石井スポーツ、カシオ計算機株式会社、キャンパルジャパン株式会社、ココヘリ、SATOMACHI、秀岳荘、CHUMS、野良道具製作所、パタゴニア日本支社、hinata、株式会社前垣、mont-bell、UTSun,jnc

## 【募集期間】

2022年10月26日(水)～11月27日(日)

## 【表彰式】

2023年3月15日(水)

## 【スペシャルアドバイザー】

岩瀬直樹(軽井沢風越学園 校長・園長)、国井雅比古(NPO 法人日本トレッキング協会 会長 / 元 NHK アナウンサー)、佐藤初雄(NPO 法人自然体験活動推進協議会 代表理事)、滝澤寿一(NPO 法人共存の森ネットワーク 理事長)、速水亨(速水林業 代表 / 株式会社森林再生システム 代表取締役 / FSC ジャパン 副代表)、星野敏男(明治大学 名誉教授)、二宮かおる(NPO 法人日本で最も美しい村連合 副会長)、三浦雄一郎(プロスキーヤー / 冒険家)

## 【選考委員長】

竹内 洋岳(プロ登山家 / 立正大学 客員教授 / 株式会社ハニーコミュニケーションズ所属)

## 【選考委員】

指出一正(株式会社ソトコト・プラネット 代表取締役 / 『ソトコト』編集長)、曾根原 久司(NPO 法人えがおつなげて 代表理事)、高野 孝子(NPO 法人エコプラス 代表理事 / 早稲田大学 教授 / 立教大学 客員教授)、成田 裕(NPO 法人ガイア自然学校 代表 / 一般社団法人日本アウトドアネットワーク 代表理事)、野口 和行(慶應義塾大学 教授)



## CONTACT

お問合せ先

ジャパン アウトドア リーダーズ アワード

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 運営委員会 事務局

ADDRESS 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 NPO 法人自然体験活動推進協議会内

MAIL jola@cone.jp TEL 03-6407-8240 WEB http://jola-award.jp



星原 貴保	株式会社ナチュラルブルー 代表取締役 / 一般社団法人沖縄県美ら海教育学校 代表理事
篠原 準	千葉県公立学校教員 / 富山学園南房総市立富山中学校 教諭
斎藤 彦馬	さらべつ昆虫研究所 / 自然ガイド
遠藤 隼	サンバの里自然学校 校長 / とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク 共同代表
久保 一平	有限会社クロスポイント 代表取締役
才賀 美奈	おさんぽの会てて / いっしょに子育て親子ちないろのわ
戸門 秀雄	『郷土料理ともん』店主 / 漁撈民俗研究者
永井 巧	一般社団法人そっか 代表理事
服部 真帆	株式会社 行雲 / 株式会社 今治・夢スポーツ ヒューマンディベロップメントグループ

# SOCIAL OUTDOOR

ソーシャルアウトドア



人も自然もいるとりどりで  
すこやかな社会をつくり次世代へ渡したい

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD (JOLA) は  
日本が誇るべき自然環境を通して  
人づくり、地域づくりに活躍してきた  
挑戦者たちをたたえています。

そのリーダーたちの活躍に光を当てることが  
教育と生き方のつながりを編集して「自然に学ぶ人」を育み、  
自然体な暮らしができる  
地域づくりのサポートになると考えています。

そしてこのようなアウトドアのあり方を  
私たちは「ソーシャルアウトドア」と名付けました。

消費するレジャーとしてのアウトドアだけでなく、  
社会をより豊かにする機会として。  
また自然体験やアクティビティだけでなく、  
農林水産業、伝統文化なども含み、  
関係者・当事者だけでなく、  
多様な同志が個人ベースで参画し、  
社会課題をみんなで解決していく。

JOLA は「ソーシャルアウトドア」をハブにして  
地域や世代や業種をつなぐすべてのの方々を応援します。

このBookでは2023年に受賞された方々を紹介します。



沖縄県にて自然や人との関わりを通して  
 子どもの主体性を育む  
 森のようちえんと  
 フリースクールを展開



岐阜県の公立専修学校にて  
 地域開放型の  
 森林環境教育施設の企画運営と  
 学生の育成に奮闘



岐阜県の長良川漁師。  
 木造和船と伝統漁法を継承し  
 川魚の6次産業化と川の文化の  
 伝え手として活躍



愛媛県のサッカークラブの  
 教育部門である野外学校で  
 大自然をフィールドに行う  
 将来のリーダー育成に活躍

# あなたの活動を みんなの活動にする SOLAというアプローチ

APPROACH

日本各地のフィールドで活躍している方々を表彰する中で、  
 単純な意味での「アウトドア（アクティビティやキャンプなど）」の枠に  
 収まり切れない方々が多くいることに気付きました。

伝統文化の継承、地域文化の再評価、  
 社会課題解決などに取り組む「アウトドア」。  
 人づくりが地域づくりにつながる機会としてのアウトドア。  
 学校教育で不足しがちな感性や身体性を  
 補完する場としてのアウトドア。

Social = 社会  
 Outdoor = 自然  
 Local = 地元  
 Associate = 仲間

ソーシャルアウトドアを  
 推し進める  
 4つのキーワード

生き方を学び、ローカルに学び、みんなと学ぶ。  
 これこそ私たちが大切にしなければならない価値、  
 ソーシャルアウトドアではないか。

それらを推し進めるため、  
 「社会」の既存の仕組みを捉え直すために  
 「自然」の中での活動や楽しみを通して  
 「地元」でがんばる人々と学び合いながら  
 「仲間」との絆を深め次世代の人づくりをする  
 そんなコミュニティを目指します。

# JOLAのソーシャルアウトドアプラットフォーム

SOCIAL OUTDOOR PLATFORM

JOLAはソーシャルアウトドアを掲げ、アワード×メディア×コミュニティの運営を通じ、教育と生き方のつながりを編集し直すことで、人づくり・地域づくりのサポートをしていきます。

## ソーシャルアウトドアプラットフォーム JOLA

選考委員

アワード

JOLA ルーブリックを起点に  
JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD

ファイナリスト



全国のアウトドアフィールドで指導する指導者およそ23万人を対象にした表彰。未来を創造する力を育み、心身の良質な成長の機会を作る、ソーシャルアウトドアリーダーの顕彰。

運営委員 / 事務局

アンバサダー



各地でソーシャルアウトドアに取り組み、それぞれの課題を持つ多様な仲間と、オフラインやオンラインで集い、互いに助け合い学び合う場。

メディア

取り上げる・つなげる・見出す

SOLA

(Web & フリーペーパー)



ソーシャルアウトドア関連ニュース、アワード受賞者や関係者の記事、SOLA編集部オリジナル記事・動画コンテンツをリトルフリーペーパーやWEBを通じて展開。

パートナー / サポーター

スペシャルアドバイザー

コミュニティ

あなたの課題をみんなの課題に

SOLA CLUB

個人会員 / 法人会員

# ルーブリック

Rubric

JOLAでは、能力評価に使用される「ルーブリック評価」を採用し、審査を行っています。4つの評価基準を決め、さらに細分化し、評価項目を作成し、評価項目を熟達度で分け、評価表を作成しています。(以下 JOLA ルーブリック)

応募者は JOLA ルーブリックをもとにエントリーシートを記入します。その後、応募者のエントリーシートを複数の委員で評価し、書類選考を進めます。JOLA ルーブリックによって情報が共有されて、応募者へのフィードバックも行えるので、応募者の今後のスキルアップにつながります。日本におけるアウトドアでの人づくりの基準になるよう、毎年改訂を行い、進化させていきます。

## 4つの評価基準

1

### 未来につながる人づくり

直接体験&体験からの学び・  
アウトドアフィールドの活用・継続性

2

### 人づくりの独自性

考え方・哲学・  
キャラクター・実践方法

3

### 社会性

コラボレーション・発信・  
社会への貢献

4

### 人づくりの技

ソフトスキル・ハードスキル・資料(道具)の  
オリジナリティ・場や資源の演出

## 3つの特徴

1

### アウトドアでの 人づくりの評価基準

幅広いアウトドアでの人づくりを  
評価する基準です。

2

### 応募者の ふりかえりにも活用

希望者には評価のフィードバックを行っており、  
各自のふりかえりにも活用してもらえます。

3

### 自身の能力を可視化

主観になりがちな「アウトドアでの人づくりの  
評価」が JOLA ルーブリックによる採点で客観  
的に可視化・共有化されます。

# JOLA2023 総括 ～選考にあたって～

Message from the selection committee

2023年のアワードは、北海道から沖縄まで、全国から71名のエントリーがありました。

下記の流れで審査及び最終選考を行いました。

## 一次審査

1

1名のエントリーに対して、運営委員から3名を選出し、  
JOLA ルーブリックの各項目について5点満点で審査を行  
いました。

2

運営委員会で、3名の審査特典の合計点151点以上11  
名、特色のあるエントリー1名の合計12名を選出しました。

3

エントリー時で25歳以下のうち、上位3名を選出しました。

## 最終選考

1

ノミネート3名のうち1名をU25賞として  
選出しました。

2

ノミネート12名のうち、8名を優秀賞とし  
て選出しました。

3

優秀賞の中から、大賞1名、特別賞2名  
を選出しました。



大賞

星原 貴保 Hoshihara Takayasu

株式会社ナチュラルブルー 代表取締役/  
一般社団法人沖縄県美ら海教育学校 代表理事

ダイビングショップを経営しながら、地域の子どもたちや観光客  
を対象に、SDGsを含めた海洋教育活動を実践し、持続可能な  
環境づくりに取り組んでいる。とするとアウトドアを消費するもの  
として扱われることも多い沖縄で、作り手の思いと参加者の成長  
を大切にしている取り組みはとても魅力的である。



特別賞

齋藤 彦馬 Saitou Hikoma

さらべつ昆虫研究所/  
自然ガイド

昆虫学や自然生態学の知識を活かし、地域の親子や一般向け  
に自然ガイドをしている。幼い頃から昆虫に魅せられ、その好き  
なことを生業にしている過程が、若いリーダーや子どもたちに対す  
るひとつのモデルとなっている。「虫の生き方から人の生き方を考  
えてみる」という人づくりの哲学にも共感できる。



特別賞

篠原 準 Shinohara Jun

千葉県公立学校教員/  
富山学園 南房総市立富山中学校 教諭

教員としての哲学をしっかり持ちながら、地域や民間事業者とコ  
ラボレーションしながら、学校における「新しい自然体験活動の  
形」を表現されている。継続して事業が続くようなシステム構築に  
も取り組んでおり、コミュニティスクールなど新たな学校像のモデ  
ルになる。



U25賞

服部 真帆 Hattori Maho

株式会社行雲 / 株式会社今治・夢スポーツ  
ヒューマンディベロップメントグループ

自身の野外教育のベースとなる学び、さまざまな団体や人との出  
会いを活かしながら、フリーランスで様々な年代のキャンプスタッ  
フや、冒険教育プログラム、コミュニケーションプログラムのファ  
シリテーターとして活動している。自身の体験から紡ぎ出される指  
導の考え方には読得力があり、今後のさらなる活躍が期待できる。

# 選考委員からのメッセージ

Message from the selection committee

竹内 洋岳 氏

選考委員長  
プロ登山家 / 立正大学 客員教授 / 株式会社ハニーコミュニケーションズ所属



JOLA は新たな挑戦に踏み出します。  
自然の中で探求を続ける私たちアウトドアリーダーは、古<sup>いにしえ</sup>に未踏の地に踏み込んでいった探検家の末裔です。探検の歴史は紛争、災害、社会変化などに翻弄されてきた歴史でもあり、彼らはその中でも創意工夫により挑戦を続け、その情熱を私たちに受け渡してくれました。いま私たちの前には世界規模の変化により、まったく新しい未踏の地が現れたのです。いまこそ人類の知恵と叡智である野外活動の術を進むべき未来を指し示すコンパスとし、JOLA は、未踏の地に ReSTART します。

指出 一正 氏

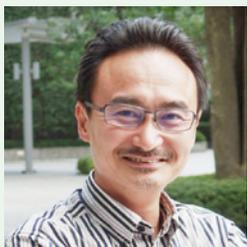
選考委員  
株式会社ソトコ・プラネット 代表取締役 / 「ソトコ」編集長



皆さん受賞おめでとうございます。人づくりに励む多くの方が、一定の思考にとらわれず、アウトドア業界から越境する姿が見えました。越境は、全く違うもの同士が、同じ場所に立つ機会をつくり、水平方向ではない、斜めの関係性を生みます。その関係性は、社会に貢献し、社会を変える可能性に溢れていました。これからの未来、子どもだけではなく、大人が自然と対峙できるよう育てることも大事です。もともと、女性のエントリー者を増やしたいですね。JOLA と共にある、ソーシャルアウトドア (SOLA) の動きも楽しみです、大いに期待したいと思います。

曽根原 久司 氏

選考委員  
NPO法人えがおつなげて 代表理事



この度の受賞、おめでとうございます。受賞されたみなさんの活動は、意欲的で独自性がありました。そのため、とても輝いて見えました。そのみなさんの活動の輝きが、原動力となり発展されたのだと思います。それがひいては、人材育成の側面や、さらに地域などへの波及効果といった社会的な側面も含め、広がっていったのだと思います。これからも、がんばってください。今後のさらなるご活躍をお祈りいたします。

高野 孝子 氏

選考委員  
NPO法人エコプラス 代表理事 / 早稲田大学 教授 / 立教大学 客員教授



「評価するのではなく、光をあてるのだと思います」という竹内さんの言葉から選考会は始まりました。コロナ禍の中でもフィールドの特色を生かして体験活動を組み立て、哲学と思いを持って人づくりに取り組んでおられる方々が集まりました。ひたむきに活動されてきた実績は等しく尊く、どなたも輝いておられると思いました。人と人が自由に関わったり、対話することのできないコロナ禍のあいだ、直接体験の大切さが改めて認識されました。JOLA に関わる全ての皆様には、どんな時にもその大切な場をしっかりと守り、育てていただきたいと思います。

成田 裕 氏

選考委員  
NPO法人ガイア自然学校 代表 / 一般社団法人日本アウトドアネットワーク 代表理事



「選考」だなんて恐れ多い…。そう思い続けてなかなか考えがまとまりませんでした。が、「光をあてる」という一言に勇気をいただきました。各地域で、目の前の子どもたちへの教育活動や地域の自然を守るといった、本当に地道で真面目な活動をされている方々に「光をあてたい」と思いました。そうした方々がJOLAを受賞することで、受賞された方々だけでなく、近しい活動をしている人たちも勇気づけられる結果となると信じています。なぜなら私自身も、受賞された方々の活躍で勇気をたくさんもらったからです。これからもJOLAが「勇気」の広がる受賞となりますように。

野口 和行 氏

選考委員  
慶應義塾大学 教授



今年もJOLA ファイナリストを皆様に紹介できることを大変嬉しく思っています。運営委員のときから全ての審査シートを読ませていただいて思うこと、良いリーダーにはストーリーがある、ということです。活動を始めるきっかけ、自然やひとに対する思い、周りを巻き込む力、そしてアウトドア活動を通じてより良い社会づくりに貢献しようという強い決意です。肩書も、実践内容も、地域もバラエティ豊かなファイナリストですが、そこに共通しているのは人々の共感を生むストーリーです。ぜひそのストーリーを味わっていただきたいと思います。

2023  
JAPAN OUTDOOR  
LEADERS AWARD  
大賞  
Grand Award

PROFILE



星原 貴保

Hoshihara Takayasu

東京生まれ。アメリカに渡り海洋生物学専攻。世界一周航海で世界の海を学び沖縄へ。イルカのトレーナー、自然ガイドを務め、2008年ナチュラルブルーを設立。エグザミナーとして環境に配慮したダイビングインストラクターを多く輩出中。専門学校、大学講師として海の教育を指導。2021年海の自然学校「美ら海学校」を設立。持続可能なコミュニティツーリズム創出に挑戦中。

株式会社ナチュラルブルー 代表取締役  
一般社団法人沖縄県美ら海教育学校 代表理事

「Ocean to all」  
を合言葉に  
人と海の架け橋へ



左から【上段】海が楽しいという感動を子どもに / 地元の高校生にシュノーケリング教育を通した海の安全教育授業 / インバウンドも沢山【下段】オンラインツアーでラオスやモンゴルといった海のない国の子どもたちと海の授業 / サンゴの受付活動などの海洋保全活動 / 海の自然学校、渡嘉敷で地元の子どもたちとキャンプ

ナチュラルブルーは海を「楽しむ」から得る「支える喜び」を皆で一緒に作っていくと多様性を持って海を伝え続けるダイビングショップです。2歳～65歳まで老若男女、また様々な身体障がい者たちとユニバーサルに、世界中から地域の人までグローバルに、「海×観光×教育×保全」で生まれる多様な価値を様々な人とシェアしています。観光客へのダイビングサービスから地域の学校教育やグローバルな企業研修、キャンプでは伝統漁体験やサンゴ

保全をしたり、オンラインで海洋教育を世界中に発信したりと様々な形で海を伝えています。海が楽しいという感動は国境や年齢を超えて誰しも共通です。感動は人を成長させ、そこには多くの学びがあります。感動し、笑い、夢を抱く事が出来るのは人間だけです。自分が楽しいと思う事を皆と分かち合いたい。人生に海遊びを。そうやって人と海が身近に深く繋がる世界を作りたいです。ツアーは海が作り出すものではない

く、人が作るものです。物言わぬ海を解釈して、今まで当たり前に見ていた風景が一瞬にして特別な景色になるように伝える事で、海に対する意識や行動が少し変わっていきます。「人と海の架け橋」となり様々な形で海の体験の価値を高めていけたらと思います。海の体験を沢山の人や社会に必要な価値に繋げて楽しいだけのものから生きる上で「必要なもの」になるように。その橋で「何を繋ぐのか」をこれからも考えて続けていきたいです。

2023  
JAPAN OUTDOOR  
LEADERS AWARD  
特別賞  
Special Award

PROFILE



齋藤 彦馬  
Saitou Hikoma

北海道更別村出身。幼いころから昆虫が大好きで、「更別村の昆虫少年」と呼ばれて育つ。江別酪農学園大学での自然生態学の研究と十勝の清水町にある「十勝千年の森」での勤務経験がきっかけとなり、多くの人たちへ自然の魅力を伝えるために昆虫の知識を活かしたいと自然ガイドの仕事を目指すようになった。幼いころから様々な昆虫や生き物を飼育観察しており、自宅では60種類もの虫や爬虫類、魚類などを飼育中。希少種の繁殖活動や展示会、講義に活用している。

さらべつ昆虫研究所  
自然ガイド  
f @さらべつ昆虫研究所  
@hikomasaitou

## ちいさな命が 教えてくれる、 生きることの面白さ

私が幼いころから大好きだった昆虫たちによって得られた多くの興味や感動を次世代の子どもたちや大人に伝え自然を好きになってほしい…と思いたち、さらべつ昆虫研究所はスタートしました。 私たちの身の回りにすむ「小さな自然の住人たち」に会いに行き、その生き方を見る、知る、触れてみるのがコンセプトです。昆虫や爬虫類などの生き物たちをテーマにした観察会や飼育展示会を行っています。

観察会ではテーマや、「推しの虫や生きもの」を探して仲間同士で協力して虫を探してみたり、誰が一番見つけることができるのか競争してみたり、謎解きクイズにしたりと、異なる内容や他のアウトドア団体とのコラボレーションによる活動を行っています。また、野外で見つただけでは分からない虫の驚くべき姿や生態を知ってもらうために飼育展示イベントの企画、興味のある子には虫の飼い方を詳細に教えて、シーズンを通して自身で虫や生き物のお世話を促しています。

昆虫というと、多くの子はクワガタやカブトムシのことばかり狙い、興味の範囲もそれらに限定的な傾向にあります。地球に100万種類もいる昆虫たちでカブトとクワガタだけではない無限の生態を知ることができます。一つ一つの種類の虫たちは長い地球の歴史と環境の変化を生き抜くために様々な戦略をもって生きているのです。そこには私たち人間にとっても参考になる、生きるための知恵があります。



左から【上段】誰よりもガイドが楽しんでいる笑顔を誘う【中段】地元の虫たちの標本を制作中 / 小さなクモがルーペを使えばモンスター【下段】冬も自然や虫の観察会を行っている / 地元十勝での自然観察会の様子

2023  
JAPAN OUTDOOR  
LEADERS AWARD  
特別賞  
Special Award

PROFILE



篠原 準

Shinohara Jun

豊かな海や森が身近なエリアで幼少期を過ごす。大学卒業後、千葉県立大房岬少年自然の家嘱託職員、千葉県公立小・中学校講師を経て、2008年に千葉県公立中学校教員として採用される。2019年富山学園 南房総市立富山中学校(保幼小中一貫校)に赴任。地元アウトドア事業者と連携し、自然体験活動を通して、地域の魅力や課題・環境問題等について探究する学習の場を創造している。

千葉県公立学校 教員  
富山学園 南房総市立富山中学校 教諭



## 心の中にふるさとを

「故郷への誇りと強い思い」を涵養することを目指し、総合的な学習の時間を中心に各教科の指導事項を関連させて地域を学ぶ「富山学(南房総学)」を実施しています。「富山学」は学区内をはじめ、南房総の自然や歴史、文化等の過去・現状を知り、持続可能な地域にしておくための課題解決策を考える学習活動です。この学習では、自然体験活動を軸に「地域を学ぶ・地域に学ぶ・地域が学ぶ」を合言葉に、

## もつ子どもたち・人づくり

多様な団体と連携しながら学校を中心とした学びの場を創造しています。

登山(富山・伊予ヶ岳・御殿山)、地域ガイド養成講座、シーカヤック、SUP、コーステアリング、ビーチコーミング、ツリーイング、森の再生活動、サバイバルの居炊刃、県外自然体験学習(宝永火山口トレッキング、青木ヶ原樹海洞窟探検、湧水の恵みウォーク、マスのつかみ取り、富士川ラフティング)、味噌造り、登山道・棚田整備、植樹、椎茸コマ打ち等といった様々

な自然体験を学校教育に取り入れ、全ての子どもたちが自然との共生・共存、人との関わり方、生命の大切さ等について、学んでいます。子どもたちが自然の中でのリアルな体験から、地域の課題や地域の自然とそこに起きている環境問題について主体的に考えることで、心の中にふるさとをもつ子どもたち、そして持続可能な社会・未来の作り手となるための生きる力の育成・人づくりにつながっていくと考えています。



2023  
JAPAN OUTDOOR  
LEADERS AWARD  
優秀賞  
Excellence Award

PROFILE



遠藤 隼  
Endo Jun

栃木県生まれ。大学卒業後、ホールアース自然学校職員として子どもキャンプやエコツアーを実施。退職後、さらなる世界をみるためにひとり自転車旅へ出発。2年かけてユーラシア大陸横断・南米縦断を果たした。帰国後、サシバの里自然学校を開校。2022年度まで宇都宮大学大学院在籍。研究テーマは「里山での幼児向け体験型環境教育の実践と評価」。

サシバの里自然学校 校長  
とぎ子ども自然体験活動ネットワーク 共同代表

## 生きもの豊かな里山を守る。

サシバというタカの仲間をご存じですか。サシバは春になると南の国から本州へ渡ってきて、「ピクィー」と鳴きながら里山の天空を舞います。サシバが里山のシンボルと呼ばれる所以は、食べ物にあります。好物は田んぼなどにいるカエルたち。サシバが元気に暮らしていくにはカエルやそれを取り巻く生きもの豊かな田んぼが必要なのです。そこで、サシバの里自然学校では、サシバの住み良い環境づくりと生きもの豊かな里山の魅力を自然体験から伝える活動をしています。さらに、仲間と共に栃木県内に点在する子ども向け自然体験活動を実施する団体同士をつなぐネットワークを作り、合同の自然体験会「キッズネイチャーフェス」を実施しています。参加する子どもたちには、様々な地域で活動している自然体験活動団体と出会う機会となっています。

私自身も数十年前、栃木県内の里山や小川でたくさん遊び、育ちました。学校が終わると友達と魚釣りや虫捕りへ。私が過ごしたあの頃の野遊びをいまの子どもたちも続けて欲しいのです。里山で楽しく過ごした経験を持つ子どもは、里山を次世代に残したいと思うのではないのでしょうか。自分の子どもたちにも経験させたいと思うのではないのでしょうか。私自身がそうなったように…。

子どもたちは、将来の里山を、サシバを、ひいてはこれからの地球環境を守る主役になっていきます。だからこそ、子どもたちには体験から地元の自然の魅力を知ってほしいのです。



[左] サシバの谷む谷津田を見下ろす [右上] どんどこ遊びがみんな大好き [右下] 里山で遊び尽くす「野遊び学校」

2023  
JAPAN OUTDOOR  
LEADERS AWARD  
優秀賞  
Excellence Award

PROFILE



久保 一平  
Ippei Kubo

絵描きになりたくてドイツの美術大学に留学するも、夢やぶれて帰国。中学美術教師を10年。その後、自然好きが高じてキャンプ場で働くことに。そして今は、アウトドアショップを経営。登山用品を販売しながら、山の案内、サブ体験などを通して自然の素晴らしさと危険性を伝えている。

有限会社クロスポイント 代表取締役  
@crosspoint\_mountain

## 自然の楽しさと怖さを描くおじさん

10年前、僕が働くキャンプ場で痛ましい事故がありました。幼稚園のおとまり保育で泊まりに来ていた園児たちが、急な増水で流され、ひとり亡くなったのです。大人の無知による事故でした。今は、登山専門のアウトドアショップを経営しているのですが、山での事故も絶えません。無知ゆえの事故が多いように感じます。山の知識を得る機会が減った今、山に関わる仕事をしている僕がやるべき活動として、登山の常識や危険性を伝えるようにしています。良質な自然体験のために、自然の危険に対して、正しい知識をどう伝えるべきか、なにより子どもたちの命を守るためにどうすればいいのか、模索しながらの活動です。

事故の多い地域の川(加茂川)の地図を作り、具体的な危険箇所を、わかりやすくイラストにしました。川での危険、ライフジャケットの重要性なども描き込んだ「加茂川 MAP」を制作し、市内の全小中学校に配布しています。また、出前授業として、川の危険講座、プールでのライフジャケット体験などを行い、子どもたち、保護者の方々、教員の皆さんに、直接伝えることができています。地元の石鎚山では、年々事故が多くなっています。思わぬところにある危険や、遭難の多い場所などを盛り込んだ絵地図を作ることで、山の具体的な危険を伝えています。絵を描いてきた経験や、教員時代の経験を生かすことのできる活動をしています。



PROFILE



才賀 美奈  
Saiga Mina

1978年京都府宮津市生まれ。幼少期より海・山・田畑等自然の中で遊び込み、将来は子どもたちの体験学習に携わる夢を持つ。長崎大学水産学部を卒業し京都・沖縄・NZ・神奈川と暮らしの地を変えながら、海辺の体験学習や環境教育に従事。2008年結婚を機に三重県いなべ市に移住。二女一男を授かり子育てする中で「里地里山の自然と共に人が育つこと」の楽しさや意義に気づき、現在の活動に至る。

おさんぼの会にて  
@osanpo.tetete

いっしょに子育て親育ちなないのわ  
@nanairo.inabe

## 人と自然が暮らしの 足元でつながるために

長女次女と自然保育の園に通った後、その経験から、長男の出産を機に、いなべの四季折々の自然の中で子育てを楽しむ「おさんぼの会ててて」を発足しました。お母さんと子ども・お母さん同士や子ども同士・自然や地域と子育て世代がつながる「手と手と手」を大切に、親や地域みんなでみんなの子どもを育むことができるサークルです。ててて発足4年後、そこで育った子や親と共に「いっしょに子育て親育ちなないのわ」を設立。ここでは、妊婦さんや乳児のいるお母さんが集い発達について学ぶサロンや未就学児親子を対象とした自然遊びの会を運営、そして認可外保育施設として3歳～6歳の未就学児と自然保育を行っています。

また一方で、小学生が好きな事に思いっきり明け暮れることができる野遊び学童クラブ「いなべ大きなりのいえ」を開設。夏休み等の長期休暇に家族のように集まり思い思いの野遊びを行います。毎日のお昼ご飯は持ち寄った材料で自分たちが食べたいものと考えて薪調理。“同じ釜の飯を食う”付き合いをしながら「生きる力」を育む場づくりをしています。並行して、市内の保育園で取り組む自然保育を巡回サポートしている他、名古屋市内の保育専門学校で教鞭をとり、保育・幼児教育の道を目指す学生と共に“子どもと自然”について考えています。



PROFILE



戸門 秀雄  
Tokado Hideo

1952年埼玉県生まれ。「郷土料理ともん」店主。元埼玉考古学会会員。趣味の釣りや食材集めで各地の渓流を訪ね、職漁師の暮らし、漁法、漁具を記録。ダイワ精工のアドバイザーも務め、溪流竿「碧翠」「碧羅」を共同開発。著書に『溪語り・山語り』『職漁師伝』『川漁 越後魚野川の伝統漁と釣り』（第24回日本水大賞審査部会特別賞）など。自然関連の講演や料理の寄稿も多い。

『郷土料理ともん』店主  
f @郷土料理ともん  
漁撈民俗研究者

## アウトドアの水先案内人は、 山河の料理人。

「野の香り山の味」を謳って「郷土料理ともん」を埼玉県・入間川の畔に開店したのは、1976年の4月でした。早春の野草に春の山菜、ヤマメ・イワナ・アユ他の川魚から秋のキノコ等々、一年を通して山の幸、川の幸に接しています。「余して採(獲)る」は、かつてお世話になった山人たちの教えです。乱獲を慎み、敬虔な気持ちを胸に、今も山河に分け入っています。常に山と、手にする様々な食材に感謝を忘れることなく接すると、自然は私たちを快く迎えてくれます。一方で、私は半世紀にわたり東日本各地の山人や川漁師と会い、彼らの生活誌を記録し、その姿をカメラに収めながら、山菜・きのこ関連も含む9冊の本にまとめてきました。私は自然に親しみたい人、さらにもう一步先の奥深い山河の世界を知りたい人を応援しています。地元の小学生には授業で自分が歩んだ道を伝え、可能な限り生きた教材(川の魚や水生昆虫、貝類)を提供しています。野性の本領発揮の子どもたちに接することができます。また学生さんや教育界を含めた社会人の方々には、自然の恵みを守り享受して家族と山河に生きた人たちの姿を講演等で伝えています。自然と共に生きた先人たちは、アウトドアのバイオニアです。私も、日々天然食材を手に、店に集う多くの人たちにアドバイスを送りながら、この世界の水先案内人として皆様のお役に立ちたいと思っています。



【左】9冊の著書で自然を伝えてきた。息子も1冊 【右上】入間川こども釣り教室。私の息子もコーチ役 【右下】地元の小学校で入間川の歴史を語る。「川は未来に向かっても流れているんだよ」と。

2023  
JAPAN OUTDOOR  
LEADERS AWARD  
優秀賞  
Excellence Award

PROFILE



永井 巧  
Nagai Takumi

幼少期に溺水し大の水嫌いとなるも、高校時代の遠泳により海に魅了される。学生時代は、ソマリアで地域共同体の崩壊を経験し、卒業後はツアモツ諸島の黒真珠養殖場へ。帰国後は、職務、ライフワーク共に、海と人を繋ぐ場づくりを営み続けている。2010年逗子海岸で「黒門とびうおクラブ」活動開始、2016年に「一般社団法人そっか」として法人化。未就学児から大人まで海山などでの遊び、アウトドアスポーツのコミュニティを運営。

一般社団法人そっか 代表理事

## 足下にある自然や人との 繋がりを楽しむことから

赤ちゃんは母親の周りを這い、全身と五感のすべてを使い、自分の周りにあるものを体感し、やがては、自宅の周囲で虫や鳥、草花など小さな自然と出会う経験を重ねていきます。どんな子どもも成長過程で自分の行動範囲を広げ、そこにある自然と出会い、日常の暮らしでは、エネルギーも食するものも、身のまわりから得ていました。ところが近年、暮らしが便利で快適になるにつれ、人の成長過程にあった遊びや余白、地域の自然で「自分を育む」時間や機会が失われてしまいました。

私たちは、海と山に囲まれた神奈川県逗子市の子も達が、地域の自然でその子なりに思いきり遊び、繋がりあう場を営んでいます。冬でも陽射しで温められた砂にまみれて友達と埋め合い、河口のブロックの合間にいる蟹を捕まえ、年上の学年の子達が釣り上げたハゼをナイフで捌き、切り身を食する姿を見つめる羨望の眼差し。風波の後に打ち上げられたワカメを拾ったり、山へ行けば季節ごとに味わえるものを覚える。暮らしの周りで、楽しかったり、美味しかったり、ドキドキしたりの実体験を重ねています。子どもだけでなく大人も一緒になって、地域や自分、自然との関係性を見出し、誰もが「海や山など自然と関わり」「自由で」「仲間がいて」「楽しい」、そんな場をこれからも作っていきます。



【左】水中の世界はどの季節も魅力 【右上】波があればサーフィン最高 【右下】竹林整備も楽しみながら

【左】はじまりと出会いの場所 【右上】いつでもどこでも遊学 【右下】ヒトの心をあたたためてくれる瞬間



2023  
JAPAN OUTDOOR  
LEADERS AWARD  
U25賞  
Under 25 Award

PROFILE



服部 真帆  
Hattori Maho

愛知県生まれ。大学在学時に野外教育研究室に所属したことをきっかけにアウトドアの道へ。登山、ボルダリング、スキーなどアウトドアアクティビティを楽しみながら、フリーランスで様々な年代のキャンプスタッフや冒険教育プログラム、コミュニケーションプログラムのファシリテーターとして活動。2023年より株式会社今治・夢スポーツヒューマンディベロップメントグループに所属。

株式会社行雲  
株式会社今治・夢スポーツヒューマンディベロップメントグループ

## 自然と人と出会い、“自分らしさ”を

新型コロナウイルス感染症が流行中の2020年、画面の中の人が多くなり、1人の時間も増えていく。そんな時に生まれたのが『遊学キャンプ』です。

『遊学』とは、「故郷を離れ、よその土地や国へ行って、勉学すること」。『遊学キャンプ』は、「あそぶ・まなぶ・いきる」をコンセプトに四季折々、全国各地で開催している。日々の暮らしからちよびり離れ、何者でもない「わたし」と「あなた」が出逢い、自然の中で活動する。日が暮れるまで遊び尽くし、やりたいことはなんだってやってみる。大まかなスケジュールは決まっているものの、細かいところは参加者と一緒に決めていきます。

遊学キャンプは、仲間と全力で遊ぶため、一参加者の気持ちになる瞬間が多々訪れます。ダイナミックな動きも魅力的でインパクトもありますが、テントの中で寝袋に入って一緒に寝ること、みんなで一つの火を囲むこと、みんなで料理をして食べること。そういった暮らしの中で好き嫌い、辛い、楽しいといった様々な感情が交錯します。新たな仲間と出会い、自然と出会い、育まれていく想いがそれぞれの進んで行く道に、わずかな光を差してくれます。

また、暮らしの時間を通して、自分の中にあつた常識が壊され、自分自身を見直し、考えるきっかけを与えてくれます。『遊学キャンプ』は成果のない、答えのないキャンプだからこそ、意図しないものと出会い、遊びと学びの世界を提供していきます。

# JOLA Finalist 2017

里山の生態系を、  
地域の人々と学びながら守る



**大賞** 北海道、国内

**白川 勝信** Katsunobu Shirakawa

共創資産研究所 学芸員

環境を意識した主体的な  
協働による人づくり



**特別賞** 広島県

**河野 宏樹** Hiroki Kono

環境教育事務所 Leaf 代表 /  
NPO法人これからの学びネットワーク 代表理事

職人的な自給自足の暮らしから、  
「生きる技」を伝える



**特別賞** 京都府南丹市美山町

**藤原 誉** Homaru Fujiwara

合同会社田歌舎 代表

「自然と暮らし」の場がもつ  
教育効果を引き出す



**特別賞** 新潟県南魚沼市を含め、地球上各地

**高野 孝子** Takako Takano

NPO 法人エコプラス 代表理事 /  
早稲田大学 教授 / 立教大学 客員教授

海と森をつなぎ、  
体験から本質を学ぶ



**特別賞** 宮城県気仙沼市

**畠山 信** Makoto Hatakeyama

NPO 法人森は海の恋人 副理事長

しまなみ発、みえないものを伝える  
インタープリターを増やす



**優秀賞** 愛媛県今治市

**菊間 彰** Akira Kikuma

一般社団法人をかしや 代表理事

全感覚を開放し、  
「生き活きる知恵」を得る



**優秀賞** 福井県越前市

**田中 謙次** Kenji Tanaka

一般社団法人環境文化研究所 代表理事

大自然の厳しさにチームで向き合い、  
若手を育てる



**優秀賞** 群馬県利根郡みなかみ町

**田中 正人** Masato Tanaka

アドベンチャーリーダー

研究から見た環境教育の重要性と  
棚田での学びの場づくり



**優秀賞** 兵庫県神崎郡市川町

**永菅 裕一** Yuichi Nagasuga

NPO 法人棚田 LOVER'S 理事長

自然の中に身を置く方法を  
ネイチャーファシリテーターとしてサポート



**優秀賞** 東京都渋谷区

**長谷部 雅一** Masakazu Hasebe

アウトドアプロデューサー・ネイチャーイン  
タープリター

# JOLA Finalist 2018

自然体験型のフリースクールで、  
子どもの主体的な学びを支える



**大賞** 沖縄県読谷村

**小倉 宏樹** Hiroki Ogura

NPO 法人よみたん自然学校 代表理事

森のようちえん・オルタナティブスクールを  
主宰しながら、子育て親育ちの仲間を全国に!



**特別賞** 岐阜県多治見市

**浅井 智子** Tomoko Asai

自然育児 森のわらべ多治見園 園長 /  
母と子の幸せ応援団〜ひなたぼっこ〜 代表

農村から世界へ。  
自然に暮らすビックマザーを目指して



**特別賞** 熊本県阿蘇郡南阿蘇村

**大津 愛梨** Eri Otsu

O2Farm 共同代表 /  
NPO 法人田舎のヒロインズ 理事長

仲間づくり&地域連携で支えあい、  
自然に感謝する人づくり



**優秀賞** 沖縄県名護市真喜屋

**小林 政文** Masafumi Kobayashi

ホールアース自然学校沖縄校 /  
がじゅまる自然学校 代表

森づくりの1ターンだからこそ、  
都市と田舎をつなぎたい



**優秀賞** 山梨県上野原市・小菅村・丹波山村

**中田 無双** Musou Nakada

北都留森林組合 参事 / 森林インストラク  
ター / NPO 法人多摩源流こすげ 副代表  
理事

伊豆の自然体験事業  
ビーチグラスを使った環境活動



**優秀賞** 静岡県賀茂郡南伊豆町

**堀 直也** Naoya Hori

エコサーファー 代表 /  
ビーチマネー 事務局長

都市のビオトープから、  
日常的な自然のストーリーを紡ぐ



**優秀賞** 関東

**三森 典彰** Noriaki Mitsumori

株式会社 BiotopGuild 代表取締役 /  
Foresthree 代表 / 東京環境工科専門学校  
非常勤講師

全世代が自然へ。  
みんなでつくる「持続する社会」



**優秀賞** 北海道

**白川 美穂** Miho Shirakawa

NPO 法人登別自然活動支援組織モモンガ  
くらぶ 事務局長

# JOLA Finalist 2019

森と子どもをつなぎたい  
ちょっと陽気な原始人



**大賞** 岐阜県

**萩原・ナバ・裕作** Yusaku Nava Hagiyawa

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 /  
野外自主保育「森のたんごむし」言い出しっぺ

ふるさとへの想いをつなぐ場に



**特別賞** 広島県

**浦田 愛** Ai Urata

NPO 法人ほしはら山のがっこう 副理事長・  
事務局長

人が森をつくるのではなく、  
森が人をつくる。



**特別賞** 神奈川県

**宮村 連理** Renri Miyamura

NPO 法人緑のダム北相模 副理事長 /  
東京学芸大学附属小金井中学校 教諭

海に学べ、森に学べ！  
ヒトから学べ、自ら学べ！を胸に14年。



**優秀賞** 千葉県

**神保 清司** Kiyoshi Jinbo

NPO 法人千葉自然学校 事業部長 兼 南房  
総市大房岬自然の家 所長 / NPO 法人海に  
学ぶ体験活動協議会 (CNAC) 副代表理事

減災教育を通じた  
自ら考えて行動出来る人作り



**優秀賞** 全国・大阪府

**片山 誠** Makoto Katayama

一般社団法人72 時間サバイバル教育協会  
代表理事 / 株式会社ココロ 代表取締役 /  
ジャンキッズプロジェクト 発起人

仲間と共に、指導者養成と  
より良い社会の実現へ



**優秀賞** 関東・山梨県・長野県・静岡県

**原田 順一** Junichi Harada

一般社団法人日本アウトドアネットワーク 事  
務局長 / SAN ~ Social Active Network of  
outdoor education ~ 副会長

街の中でも感性を豊かに、  
表現する人になろう



**優秀賞** 大阪府

**中根 佳江** Yoshie Nakane

公益社団法人日本ガールスカウト日本連盟  
ガールスカウトトレーナー / 大阪総合保育大  
学 非常勤講師

子ども達の能力を信じ、  
一緒に楽しむ



**優秀賞** 長野県

**松場 省吾** Shougo Matsuba

NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまた  
み 理事 / やまたみキッズ登山クラブ リーダー

若手だからこそ、  
全力で未来を創りたい



**U30賞** 北海道・関西

**徳田 真彦** Masahiko Tokuda

大阪体育大学 講師

# JOLA Finalist 2020

川漁師× SDGs  
日本風土の最高傑作“天然鮎”は語る



**大賞** 岐阜県

**平工 颯太郎** Kentaro Hiraku

結の舟

「つながり」で広げる  
未来の可能性



**特別賞** 東京都

**稲松 謙太郎** Kentaro Inamatsu

株式会社ノッツ/SAN ~ Social Active Network  
of outdoor education ~ 会長

アウトドアで育む、  
児童養護施設に暮らす子どもたちの未来



**特別賞** 東京都・神奈川県・埼玉県・  
千葉県・宮城県・岩手県

**ジェフ・ジェンセン** Jeff Jensen

NPO 法人みらいの森

後ろを向きながら前に走っている人



**優秀賞** 兵庫県

**相良 育弥** Ikuya Sagara

淡河かやぶき屋根保存会「くさかんむり」

野外体験活動から  
危機意識と人間育成を学ぶ



**優秀賞** 北海道

**新野 和也** Kazuya Niino

認定 NPO 法人どんごろ野外学校

質の高い野外活動指導の  
できる人材をつくる



**優秀賞** 神奈川県

**西島 大祐** Daisuke Nishijima

鎌倉女子大学短期大学部准教授 /  
NPO 法人東京都キャン協会 理事長

未来の「グリーンリーダー」を  
日本から世界へ！



**優秀賞** 兵庫県・大阪府

**バハラム イナル** Bahram Enanloo

NPO 法人 Peace & Nature

笑顔のバトンタッチは  
ずっと繋がっている



**優秀賞** 千葉県

**堀 由美恵** Yumie Hori

一般社団法人開けたら海へ 代表理事

“ちょっとチャレンジ！”  
を応援したい



**U30賞** 福井県

**細川 和朗** Kazuro Hosokawa

NPO 法人自然体験共生センター 理事長 /  
福井県キャン協会 理事

“生きる”をテーマにする  
野外活動家



大賞 愛媛県

木名瀬 裕 Hiroshi Kinase

株式会社今治・夢スポーツ/ヒューマンディ  
ベロップメント グループ長 / 「しまなみ野外  
学校」エディケーションプロデューサー

思いはただ1つ…  
子どもたちの命を守ること。



特別賞 香川県

森重 裕二 Yuji Morishige

子どもたちにライジャケを！代表 /  
庵治石細目 松原等石材店 3代目

「刃火歩平穂育」と「かきくけコミットメント」で  
「冒険智力」を育みたい



優秀賞 宮城県

塚原 俊也 Toshiya Tsukahara

くりこま高原自然学校 校長 /  
OWLS (Outdoor Works & Lifestyle) 代表

子ども、自然、暮らし、教育を  
つなげる体験プログラム職人



優秀賞 沖縄県

丸谷 由 Yu Maruya

一般社団法人ネコのわくわく自然教室  
代表理事

50年続く未来への種まき  
なんでも楽しめる豊かな心を



U30賞 東京都

井上 恵里 Eri Inoue

公益財団法人社会教育協会ひの社会教育  
センター / ひの自然学校 担当ディレクター

和を成し人・組織の  
可能性を切り拓く



特別賞 長野県

森 和成 Kazunari Mori

株式会社ライジング・フィールド 代表取締役 /  
株式会社プロジェクトアドベンチャー・ジャパン  
取締役営業統括

幸せな大人の姿こそ  
最高の教育！



優秀賞 奈良県

岡本 麻友子 Mayuko Okamoto

森のようちえんウイズ・ナチュラ 代表 /  
合同会社 SOULS CEO

すべての答えは、  
自然と子どもにある！



優秀賞 神奈川県

星野 諭 Satoru Hoshino

移動式あそび場全国ネットワーク /  
つむぎやさん 代表

「体験」が人を育てる  
その体験の原点が「無人島」にある



優秀賞 兵庫県

山崎 清治 Seiji Yamasaki

NPO 法人生涯学習サポート兵庫 理事長 /  
無人島学校 校長

INTRODUCING SPECIAL ADVISORS



岩瀬 直樹氏  
軽井沢風越学園 校長・園長



国井 雅比古氏  
NPO法人日本トレッキング協会  
会長 / 元NHK アナウンサー



佐藤 初雄氏  
NPO法人自然体験活動推進  
協議会 代表理事



澁澤 寿一氏  
NPO 法人共存の森  
ネットワーク 理事長



速水 亨氏  
速水林業 代表 / 株式会社森  
林再生システム 代表取締役 /  
FSCジャパン副代表



星野 敏男氏  
明治大学 名誉教授



二宮 かおる氏  
NPO 法人日本で最も美しい村  
連合副会長



三浦 雄一郎氏  
プロスキーヤー / 冒険家

# あなたとできること

JOIN US

世代を超え、立場を超え、  
枠組みを超えて  
みんなが広く緩やかにつながれる  
JOLAに力を貸してください。  
JOLAはアウトドアでの  
人づくりの技を生かして、  
地域をつくり、自然環境との  
関係をつくり、  
日本人としての心を育てる  
そんな取り組みを  
進めていきたいと考えています。

JOLAは、スポンサー・サポーターの皆様からのご協賛で運営している任意団体で法人化をめざしています。運営委員はボランティアで活動をしています。  
これまでの、アワードを通じた表彰をベースに、ファイナリストの知恵や経験を活かし、各地で活動する素晴らしい仲間とつながり、それぞれが抱える課題をみんなの課題として知恵を出し合い、アウトドアの手法を使って未来をつくりだしたいと考えています。

そのために、より多くのみなさまとのつながり、さらなるサポートを求めています。互いに支援しあえる存在として、私たちの理念に賛同いただけるなら、「一緒に」未来を描いていきましょう。

## ご支援ください

サポーターとして年間登録をお願いします。法人様のSDGsや社会貢献活動につながります。また、私たちがお手伝いできることもたくさんあります。ファイナリストの紹介、コラボ事業、フリーペーパーでのPR、みんなの知恵袋での課題解決、活動応援商品・サービスのご提供、オリジナル研修、プログラムのご提供など、「人づくり・地域づくり」のパートナーとして、ぜひご相談ください。

## 仲間になりませんか

JOLAにエントリーするだけでなく、活動そのものをご支援ください。個人サポーターとして年間登録ができます。「自分の活動もソーシャルアウトドアかな?」「アウトドアで社会貢献したい」JOLAに共感くださるみなさんからよくいただく言葉です。あなたにできることが、たくさんあります。ぜひ、私たちと一緒に楽しくなる「人づくり・地域づくり」を盛り上げませんか?

ご興味を持っていただけましたらお気軽に裏面記載の事務局までお問い合わせください。

## JOLA/SOLA 登録フォーム

JOLA/SOLAでは年間を通じて、さまざまなプロジェクトを立ち上げます。それらのイベント情報が必要な方は下記のフォームにご登録ください。不定期ではありますが随時インフォメーションさせていただきます。ご興味を持っていただけましたらお気軽に裏面記載の事務局までお問い合わせください。



## JOLA 運営委員会の ご紹介

GROUP INTRODUCTION

## VISION

私たちの描く未来

人も自然も  
いろいろとどりで  
すこやかな社会をつくり  
次世代へ渡す。

## MISSION

私たちの取り組み

未来のための  
人づくりに取り組む  
ソーシャル  
アウトドアリーダーに  
光を当てる。

## 7VALUES

私たちが大切にしたいこと

1. 今を大切に、未来を見据える
2. リアルな体験や場を大切にする
3. 自分の個性を大事にする
4. 他人との違いを楽しむ
5. 互いを応援しあう
6. 自らの「アウトドア」に一步踏み出す
7. 学びを可視化し、みんなと共有する

### 運営委員長

山田俊行(トヨタ白川郷自然学校 学校長)

### 運営委員

加納 麻紀子(NPO法人くまの木里の暮らし 事務局長) / 佐藤 繁一(NPO法人国際自然大学校 統括本部長) / 砂山 真一(一般財団法人ポジティブアースネイチャーズスクール 代表理事) / 高瀬 宏樹(国立管南青少年自然の家 企画指導専門職) / 中澤 朋代(松本大学総合経営学部 准教授 / NPO法人日本エコツーリズムセンター 共同代表理事) / 野口 和行(慶應義塾大学 教授) / 原田 順一(一般社団法人日本アウトドアネットワーク 事務局長 / SAN ~ Social Active Network of outdoor education ~ 副会長) / 増田 直広(鶴見大学短期大学部 講師) / 山路 歩(NPO法人体験学習研究会 代表理事 / 日能研 調査開発室 キャンプ担当) / 山田 亮(北海道教育大学岩見沢校 アウトドアライフコース 准教授)

### 事務局

大久保 徹(株式会社ボブラ社) / 土屋 文乃(NPO法人自然体験活動推進協議会) / 原田 順一 ※運営委員兼務 / 和田 徳之(株式会社和大地 代表取締役)